

はたらくネット

広報紙「はたらくネット」では、より多くの方々に障害のある方の就労について理解を深めていただけるように、積極的に障害者雇用に取り組んでいる事業者の取り組み事例を紹介しております。今号では、水 ingAM 株式会社東北支店の取り組みをご紹介します。

●水 ingAM 株式会社 東北支店 広瀬川管理事務所[仙台市]



広瀬川管理事務所がある広瀬川浄化センター

設立: 2018年6月
代表者: 代表取締役社長 石川隆雄
事業内容: 上下水道施設等の運転管理、保守点検などの水処理施設の維持管理
雇用状況: 身体障害49名、知的障害9名、精神障害36名
(令和8年7月現在)

水 ingAM株式会社は、水処理施設の運転・維持管理を担う水 ing グループの中核として、全国の浄水場や下水処理場、し尿処理施設、最終処分場といった公共水インフラ施設の安全・安定的な運営を支えている企業です。

今回は、水 ingAM 株式会社東北支店広瀬川管理事務所所長の門間さんにお話を伺いました。

1. 個性・特性に応じた受入れ準備

◆広瀬川管理事務所での初めての障害者雇用

当社では、多様な人材が活躍できる職場づくりの一環として障害者雇用を推進しています。長期勤続者も多く在籍しており、個々の特性に応じた業務配置や職場環境の工夫により、安定した雇用継続につなげています。東北支店では、2024 年より障害者雇用の取組みを本格的に開始し、グループ会社である水 ing エンジニアリング株式会社と合わせて2名の方が職場

環境に適応し、安定して勤務されています。一方で、全社的に障害者雇用率の向上が求められる中、維持管理施設である広瀬川管理事務所においても採用の可能性を検討することとなり、採用活動を進めました。

◆自社の課題から業務を設定・専門機関への相談

具体的な採用までの経緯や流れは以下の通りです。

①現場の課題と業務設定

清掃業務の専任従業員の退職により、現場の清掃品質維持が課題となる。

→障害のある方に清掃業務をお願いしたい

②社内環境の整備（はたらポート仙台への相談）

- ・「職場内の障害理解を深める勉強会」※1の実施
- ・業務スケジュールの作成、求人票作成



③マッチング

市内の就労移行支援事業所※²等の利用者を対象とした職場見学会、職場実習を実施

④採用決定

採用面接を経て、採用決定

※1 はたらポート仙台では、企業の皆様を対象に「障害者雇用の基礎知識」「障害の特性と配慮事項」等ご要望に応じたテーマで勉強会を開催し、障害理解を深めるお手伝いをしております

※2 就労移行支援事業所：一般企業への就労を希望する障害のある方が就労に必要な知識や技術の向上のために一定期間（標準利用期間は24か月以内）訓練を行う障害福祉サービス

私自身初めて障害者雇用に取り組むこととなったので、はたらポート仙台からの「受け入れ準備が大切」とのアドバイスを受け、「これから必要になることを学ばせていただく」のスタンスで取り組みました。

◆「スケジュール化」による安心感

作業については、スケジュールをきっちりとは決めずに A さんのペースに任せて取り組んでもらえると良いのではと思っていましたが、「職場内の障害理解を深める勉強会」の際に「時間や清掃場所などについては、事前にスケジュールを決めていただいた方が障害のある方々が取り組みやすい」とアドバイスを頂き、右記のような「一日の業務スケジュール」を作成しました。

◆マッチングのための職場見学・職場実習

求人へ応募いただく前には、職場見学・職場実習を実施しました。これは、入社後のミスマッチを防ぐ上で非常に有効でした。見学や実習を通じて A さんの人柄や特性を事前に把握することができ、個性・特性に合わせた丁寧なサポートを心掛けることが出来ました。

こうした採用活動を通して、A さんを採用することとなりました。

～ 職場実習時の業務スケジュール ～

wingAM株式会社 広瀬川管理事務所
管理棟日常清掃等業務スケジュール 1日目

時間	主な業務内容	
～9:30	9時30まで出勤（着替え完了）	
9:30～10:00	就労支援センター様との打ち合わせ、本スケジュール確認 ポイント まずは一緒にやってみよう、場所や作業に慣れよう	
10:00～11:15	ごみ回収（事務所・各階トイレなど） ポイント くずかご箇所の確認、ごみ袋の準備、回収したごみの分別など	☐
11:15～12:00	モップ掛け（廊下、階段、事務室、中央監視室） ポイント モップをかける場所 モップの保管場所	☐
12:00～13:00	昼休憩	
13:00～13:30	洗濯補助（未洗濯物の洗濯・乾燥、分別） ポイント 未洗濯物があるか確認、洗剤などの場所確認、機械の操作	☐
13:30～14:30	トイレ清掃（1階・2階の洗面台、小便器、大便器、トイレごみ回収） ポイント 洗剤類・清掃用具の場所と使い分けと使用後の対応	☐
14:30～15:30	掃除機かけ（和室・更衣室・1階下駄箱前） ポイント 掃除機とコンセントの場所と使い分け	☐
15:30～	1日目作業終了 着替え後帰宅	

※1 状況により若干の内容変更あり

2. 特性を活かした主体的な業務への取り組み

◆メモの習慣と的確な報告

A さんは、日頃から作業手順書やスケジュールをベースに確実に作業を進めてくれています。さらに素晴らしいのは、日々の出来事や指示されたことを小まめにノートに記録している点です。以前、玄関の植物の水やりについて、「冬場は1か月に1回程度で気温の低い時は不要。夏場は1週間に1回程度」と口頭で伝えていたところ、その時期を迎えた際に、A さんから「水をやっておきました」と報告があり、「2 か月前にお願いしていたことをきちんと把握して今日やってくれたんだ」とこちらが驚くような業務の取り組みをしてくれています。ノートを時々見返している様子も見られ、A さんの努力と業務に対する素晴らしい姿勢を感じています。

また、毎日、昼休憩前と終業時の2回、口頭で業務報告を行ってもらっています。「洗濯は終わったが、乾燥がまだできていない」といったように、「何が完了していて、何が未完了なのか」の進捗を的確に引き継いでくれていま

す。このような報告のおかげで、夜勤職員へスムーズに申し送りを行うことができ、とても助かっています。

A さんからは、「ここを掃除しましょうか」といった主体的な提案や「(掃除用具として)こういった道具があると助かります」といった相談があります。また、水回りの故障を発見した際もすぐに報告をくれるなど、その頑張りには本当に助けられています。

◆できることから広げる業務・高まる意欲

A さんが「できることの幅を広げていきたい」という思いを持っていることを私も感じております。機械があり A さん一人での立ち入りが難しい場所などは「臨時で一緒に掃除をしていただけませんか」と伝えて、私も立ち会い掃除をするなど、少しずつ業務の幅を増やしていています。慌てて全てやれるようにするというのではなく、確実にできるものから少しずつ範囲を増やすという形をとっています。

3. 定着支援に向けた工夫や配慮

◆「不安」に寄り添う運用の工夫

実習では把握しきれなかった「こういうことが気になる」という A さんの人となりを徐々に把握していきました。例えば、洗剤やトイレトペーパーの在庫量が減ってくると、私たちからするとまだ大丈夫という量でも、A さんは「足りなくなるのでは」と不安に感じて何度も相談にくるといったことがありました。そのような時には A さんと一緒に落としどころを話し合っ、て、こういう風になったらこうしようということを決めながら、A さんの納得感が得られるような形で運用することを心がけています。

◆支援機関の定着支援

また、判断に迷うようなケースが出てきた時に支援機関であるはたらポート仙台に方向性を確認させてもらったり、その期間にあった出来事についてフィードバックしていただいて状況を把握できたりと、非常に心強いサポートになっていたと思います。私に知識が無かったので、アドバイスに素直に従わせていただくことが一番であると思っていました。

4. 「最初はできなくて当たり前」を念頭に、スモールステップで



左から
大須賀さん 黒田さん 門間さん 伊藤さん

最初から過大なものをお願いするのではなく、少しずつのステップアップがやはり必要だと思っています。そのことにより、A さんも過度なプレッシャーから解放されている側面はあるのではないかと感じています。

実習の時はいつも焦っているように見えてましたが、採用後は焦って行動している様子はほとんど見られなくなりました。安全面からも非常に安心して見守ることができている状況です。

障害の有無に関わらず誰でも同じで、「初めから上手くてできるわけがない」ということを常に念頭に置き、ご本人にも伝えつつ対応していくと良いと思っています。



令和7年7月から働いているAさんにお話を聞きました



——働き始めたきっかけを教えてください。

前職の清掃の経験が活かせる仕事に就きたいと考え、はたらポート仙台に相談していたところ、現職の求人情報を知りました。最初は勤務場所が自宅から遠くて続けられるか不安でしたが、応募前に職場見学や職場実習を行い、意外とやっていけると思いました。また、所長や職員の方々がとても優しく、応募を決めました。

——現在はどうななお仕事をしていますか？

トイレ掃除、階段・廊下・事務室・仮眠室のモップがけや掃き掃除、更衣室・和室の掃除機がけ、マット・昇降口の掃除機掛け、テーブル・手摺・椅子の拭き掃除、ごみ回収、植物の水やり、洗濯など毎日行うものもあれば曜日や時期によって行うものもあります。自分でノートにメモをし、それを確認しながらやっています。

——仕事をする中で大変だと感じることはありますか？

清掃は自己判断だけではできないという難しさがあります。計算式みたいに答えが出る訳ではなく、自分が綺麗にしたと思っても、人から見られてどうなのかが全てなので。以前、清掃後に「髪の毛が落ちている」と指摘を受け、そこは自分で注意をするようにして改善したと思っています。

——仕事の中で嬉しかったことや楽しいと感じることはありますか？

嬉しいとか、楽しいとかで仕事はしておらず、お給料に相当する仕事をやらなければならないというのが第一だと思っています。所長から「やってもらって助かっている」と言われるとほっとするし、そのためにやっています。また、当初、廊下・階段掃除は、休憩を挟んで2時間以上かけてやっていましたが、今は休憩なしで45分程時間短縮もでき、その分、手がつけられていなかった場所の清掃ができるようになってきて、達成感や自分の成長を感じています。やっていくうちにスピードが上がり、体力もつきました。

——これからの目標を教えてください。

時間短縮を図ったり、計画的に掃除を行ったりしながら、手をつけられていない場所の掃除もできるようにしたいです。

——これから働きたいと考えている方にメッセージをお願いします。

仕事を選ぶ時は、給料だけではなく、自分の能力で何ができるのかを冷静に考えると良いと思います。給料が高いところはそれなりに高い能力が求められ、それができれば良いのですが、自分はどうなのか。自分に合ったお仕事なら続けることができます。能力がある人を羨ましがったところで自分のポテンシャルは何も変わらないので、自分のポテンシャルの中で、何ができるかを考えた方が良いと思います。悩む時は、家族やはたらポート、ハローワークに相談した方が、就職できるまでの期間は早いと思います。



*ご愛読いただきありがとうございます。ご意見
ご感想などございましたらぜひお寄せください
(次のQRコードからどうぞ)

発 行: 仙台市障害者就労支援センター

(指定管理者: 社会福祉法人仙台市障害者福祉協会)

住 所: 仙台市泉区泉中央2丁目1-1 仙台市泉区役所東庁舎5階

電 話: 022-772-5517 FAX: 022-772-5519

M a i l: hataraport@sendai-wsc.jp HP: <https://www.sendai-wsc.jp>



※はたらポート仙台は、令和9年1月(予定)にユーマディアダイバーシティスクエア(仙台市福祉プラザ)へ移転いたします。移転後におきましても、より一層皆様の信頼にお応えできるよう、職員一同準備を進めてまいります。